

2022年度版 中学学参 お伝えしたい情報

教科・科目	書籍	種類	評価の声・採用理由	左記に対する具体的な箇所	ご要望への対応	増補箇所
数学	COM.-PASS 数学	ワーク	①思考力問題が選択式なので苦手な生徒でも頑張れそう。(長野県) ②思考力問題が、他では見ないものもあり面白い。(長野県) ③アシストノートは提出用ノートとして重宝している。(長野県) ④問題数の多さと見開き構成の使いやすさが気に入っている。(長野県) ⑤学校の定期テストの回数を減らし、その代わりに小テストの回数を増やしている。評価の観点として、確認テストが付属するのはありがたい。(新潟県) ⑥分量が多く、解き応えがある。予算の関係上、何冊も購入が難しいため、生徒に多くの問題を解かせるために購入した。(愛知県)	①本誌各単元の右下のコーナー ②(啓1)p.181、(東1)p.185、(啓2)p.169、(東2)p.177、(啓3)p.21、(東3)p.25 各ページの「Complete!」 ⑤【サポートクラウド】確認テスト、まとめテスト	①2020年度版のダブルトライにあった「前学年の復習」を復活してほしい →サポートクラウドでPDFデータを提供します。 ②まとめテストに計算問題だけでなく文章題など考える問題も1, 2問入れてほしい。また、まとめテストは章ごとに作ってほしい →右の②の通りに改訂しました。	【サポートクラウド】 ①小テスト作成ツールの新設。範囲を指定してランダムに問題を選び、小テストを作成することもできる。 ②まとめテスト増補。単元割を教科書の章ごとに。増補部分は「考える問題」を多く取り入れるようにしました。 ③「前学年の復習」PDFデータの提供。
	3年間の整理と復習 数学	総まとめ教材	①各単元の導入が易いので、入試対策の学習を始めるうえで使いやすい教材。(東京都) ②難易度、問題量がちょうどよく、この教材で土台を作れたので入試過去問や応用問題を解くといった学習にもスムーズにシフトできた。(東京都)			・サポートクラウドで、①定期テスト対策に使える「まとめテスト」、②オリジナル「小テスト作成ツール」、③復習に使える「確認ドリル」、④13種類のグラフ用紙と本誌の図版データをご用意した「グラフ用紙・図版集」を提供。 ・新教科書対応により、「四分位範囲と箱ひげ図」の良問を登載。